

検査・健診機能も充実

● 健康診断・人間ドックの各種検査メニューの充実

MRIやマンモグラフィーなどで病気の早期発見に努め、適切なアドバイスや治療を行います。



圧迫感のないオープン型のMRIや乳房X線撮影ができるマンモグラフィーなどにより、病気の早期発見に努めます。

左：放射線受付
右：MRI室



広くてきれいな総合受付窓口

● 受付ロビーでは、非常時の災害医療などに対応が可能

酸素吸入器やベッド、非常電源の確保により多数の負傷者への緊急対応が可能です。



受付ロビーは、災害が発生し多数の負傷者が出た場合には、イスがベッドに早変わりして、備え付けの酸素吸入器を使用。緊急時の対応が可能となりました。また、外来診療と健診の玄関口を別にして利便性を向上しました。

左：総合案内
右：健診センター入口



清潔感あふれる病棟

● 一般病室は22室50床、療養病室は19室49床を整備

病棟では4人部屋や2人部屋だけでなく、個室や食堂、浴室、洗髪室も完備。



清潔感あふれる病室や、浴室を利用することにより、快適な入院治療が行えます。

左：4人部屋
右：浴室



**生まれ変わった
下呂市立金山病院**

地域の医療・保健・
福祉・健康増進の
核拠点として。

健康意識の高まりや、地域社会における高齢化の進行を背景に、下呂市立金山病院が初期医療と救急医療、慢性期医療の充実を目指して生まれ変わりました。

この病院は、いままでに産声を上げたばかりです。新しい建物に新しい医療機材がそろい、医療を提供する環境は向上しました。これからは、そこに働く「人」と、訪れる「人」とが手を取り合い、一緒になって地域医療を守り、育てていくことが求められています。「安心・安全なまちびり」を目指して。

※3、4ページで使用している写真は開院前に撮影したため、実際とは異なっている場合があります。

市総合防災訓練

9月2日(日) 午前8時から

震度6強 下呂市を震源とする巨大地震が発生

○訓練の想定

地震により家屋の倒壊、火災発生、土砂崩れや斜面崩壊による道路の寸断。電気、ガス、水道、電話に被害が生じた。

○訓練の内容

1. 各地区・自主防災組織による訓練(全地区)
2. 協定団体との連携訓練(萩原町山之口区と尾崎1区との合同)

午前8時に同報無線から流れるサイレンが地震発生の合図です。地震が発生したと仮定して、避難訓練を開始。避難後は自治会、防災組織のリーダー及び消防団の指示で訓練に参加してください。

自主防災組織訓練

《各地区で実施》

地域のことを一番よく知っているのは、そこに住む人たちです。自分たちの地域を自分たちで守れるように、地元消防団などの協力で訓練します。各地区の訓練計画に基づき実施してください。

団体連携訓練

《山之口区・尾崎1区》

巨大地震が発生すると、下呂市には孤立することが予想される地域があります。孤立してしまった場合の対応訓練を、協定団体などと協力しながら実施します。

◎地震が発生したら

- ・まず自分の身を守りましょう。(大きな揺れは1分程度です。)
- ・家族の安全確認
- ・火の元を確認し、出火していたら初期消火(小さな地震でも火を消す習慣を)避難をするときはブレーカー、ガスの元栓も切りましょう。
- ・ドアや窓を開けて、逃げ道を確保(むやみに外に飛び出すのは危険です。)
- ・隣近所の安全を確認
- ・ラジオやテレビなどで情報を確認しましょう。

あなたにもできる地域貢献 家族みんなで参加しよう！

防災が亡^{ぼうさい}災にならな^いいために

東日本大震災から間もなく1年5カ月が経ちます。未曾有の大災害を、いつまでも忘れることなく、自分の身に置き換えて考えることが大切です。

私たちの住む下呂市でも、阿寺断層帯などの巨大地震がいつ発生してもおかしくない状況です。災害に対する正しい知識を身に付け、いざというときに冷静に行動できるようにするために、家族みんなで防災訓練に参加しましょう。

【総務部 防災情報課】

